

分 類：基礎医学Ⅱ

授 業 科 目 名：人体解剖学入門，骨学実習（Essentials of Anatomy and Osteology）

対 象 学 年：1年次必修

時間割コード：71563005

開 設 学 期 等：第2週～第13週（毎週月曜日5-10時限）

単 位 数：0.5+0.5

1. 主任教員

板東良雄（教授、形態解析学・器官構造学講座、6053、オフィスアワー：随時（要アポイントメント））

2. 担当教員

板東良雄（教授、形態解析学・器官構造学講座、6053、オフィスアワー：随時（要アポイントメント））

鈴木良地（准教授、形態解析学・器官構造学講座、6054、オフィスアワー：随時（要アポイントメント））

周 明（助教、形態解析学・器官構造学講座、6260、オフィスアワー：随時（要アポイントメント））

明石英雄（助教、形態解析学・器官構造学講座、6055、オフィスアワー：随時（要アポイントメント））

渡辺雅彦（非常勤講師、北海道大学大学院医学研究院 教授）

吉田成孝（非常勤講師、旭川医科大学 教授）

鵜川眞也（非常勤講師、名古屋市立大学 教授）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を修得して診療を実践していくために、また2年次に開講する解剖学の入門編として人体を構成する主要な臓器や器官の基本構造を理解する。骨学ならびに骨学実習では、実習を通して骨の構造や支持組織としての役割を理解する。さらに、関連するプロフェッショナリズム，医の倫理，医療行動科学，医療安全，医療法（制度），EBMについて学ぶ。

【概要】

- 1) 人体を構成する主要な臓器や器官の部位・名称を理解し，説明できる。
- 2) 基本的な解剖学用語を学び，医学的表現法を理解し，正しく表現できる。
- 3) 集団としての組織・臓器の構成，機能分化と方向用語を理解する。
- 4) 血液・造血器・リンパ系の構造と機能を理解する。
- 5) 神経系の正常構造と機能を理解する。
- 6) 運動器系の正常構造と機能を理解する。
- 7) 循環器（心血管）系の構造と機能を理解する。
- 8) 呼吸器系の構造と機能を理解する。
- 9) 消化器系の正常構造と機能を理解する。
- 10) 腎・尿路系の構造と機能を理解する。
- 11) 生殖系の構造と機能を理解する。
- 12) 耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解する。
- 13) 骨の構造を理解し，説明できる。
- 14) 献体された故人と遺族に対する尊崇の念を持ち，適切な態度で実習に望むことができる。
- 15) 医師の職責を十分に自覚することが出来る。
- 16) 自分の役割を理解し，班員と友好的関係性を築き，協力して実習を進めることができる。
- 17) 相手の話をよく聞き，問題点を把握することが出来る。
- 18) 話す相手に内容を分かりやすく説明することが出来る。
- 19) 骨学実習に関連する法律を概説でき，遵守できる。

4. 教科書・参考書

1. 人体解剖学入門

入門編としての最適な教科書は存在せず、教科書に準じた講義は必ずしも行えないが、グレイ解剖学に掲載されている図を多く引用している。グレイ解剖学は2年の解剖学でも使用する。

(教科書)

グレイ解剖学(エルゼビア・ジャパン)

(参考書)

解剖学講義(南山堂)

人体の正常構造と機能(日本医事新報社)

2. 骨学および骨学実習

(教科書)

グレイ解剖学(エルゼビア・ジャパン)

骨学実習の手引き(南山堂)

(図譜/アトラス)

骨学実習および2年の解剖学実習で使用する。以下、いずれか1冊でよい。

プロメテウス解剖学コアアトラス(医学書院)

ネッター解剖学アトラス(エルゼビア・ジャパン/南江堂)

グレイ解剖学アトラス(エルゼビア・ジャパン)

5. 成績評価の方法

統一試験により成績を評価する。

ただし、統一試験受験資格は下記を満たしていることを前提とする。

1) 人体解剖学入門および骨学(講義)

出席状況および試験(6割以上の得点率)

2) 骨学実習

出席状況およびスケッチ課題を総合的に評価する。骨学実習における遅刻・早退は3点/回、欠席届のない欠席は5点/回を試験から減点する。実習中に欠席確認は行うが、スケッチの提出をもって出席とする。なお、実習室の使用状況により、別の期間に補講を行うことが出来ない。そのため、欠席した場合のスケッチは0点となる。体調管理を行うこと。

スケッチの総合評価および試験の結果がともに6割以上で「所定の実習を終えた」とし、統一試験受験資格を得ることができる。一方、スケッチの総合評価あるいは試験のどちらか一方でも4割以下の場合、2/3以下の出席と同等あるいは授業態度が極端に悪かったものとみなし、与えられた課題に対して相当の努力が客観的に認められる場合に限り、統一試験受験資格を得ることができる。

なお、客観的にみてやむを得ない事情による遅刻、早退ならびに欠席については配慮する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

骨学実習ではスケッチを行うため、以下のものをあらかじめ準備しておくこと。

1) A4 ケント紙を数枚(骨学実習1回につき、平均1-2枚程度)

2) 鉛筆(必要なら色鉛筆)

3) 練り消しゴム

シラバスの日程はあくまでも計画であり、進捗や非常勤講師の日程調整による変更など、実際の進捗と異なる場合もあるため、注意すること。12/13に試験を行う予定であるが、他の講義の形成試験と重複する可能性がある。本講義および実習で取り扱う内容は広範なため、直前や過去問のみの対策では間に合わない。日頃からよく復習し、学修しておくことを勧める。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	10月3日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 1 人体解剖学総論 人体構造の概要について理解し、基本的な解剖学用語を用いて正確に表現できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
2	10月3日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 2 骨・関節総論 (1) 骨・軟骨・関節・靱帯の基本構造と機能を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
3	10月3日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：解剖学講義 3 骨・関節講義 (2) (1) 骨・軟骨・関節・靱帯の基本構造と機能を説明できる。 (2) 骨の成長と骨形成・骨吸収の機序を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
4	10月 17日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 4 筋系 (1) (1) 全身の主な筋肉の構造と機能を説明できる。 (2) 主な筋肉の起始・停止・支配神経・機能を説明できる。	鈴木良地	基礎棟第 1 講義室
5	10月 17日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 5 筋系 (2) (1) 全身の主な筋肉の構造と機能を説明できる。 (2) 主な筋肉の起始・停止・支配神経・機能を説明できる。	鈴木良地	基礎棟第 1 講義室
6	10月 17日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：解剖学講義 6 筋系 (3) (1) 全身の主な筋肉の構造と機能を説明できる。 (2) 主な筋肉の起始・停止・支配神経・機能を説明できる。	鈴木良地	基礎棟第 1 講義室
7	10月 24日 (月)	5-6 時限	実習	テーマ：骨学講義 1 脊柱と胸郭 (1) 脊柱と胸郭の基本構造を説明できる。 (2) 椎骨間の連結や脊柱の構造を説明できる。	周 明	基礎棟第 1 講義室
8	10月 24日 (月)	7-10 時限	実習	テーマ：骨学実習 1 脊柱と胸郭 脊柱と胸郭の観察とスケッチを行う。 (1) 椎骨の基本構造と脊柱・胸郭の構成を説明できる。 (2) 椎骨の特徴の相違を説明できる。 (3) 椎骨の名称と機能を説明できる。 (4) 姿勢と体幹の運動に関わる筋群を概説できる。 (5) 骨と骨の連結について説明できる。	板東良雄 鈴木良地 周 明 明石英雄	第 2 実習室
9	10月 31日 (月)	5-6 時限	実習	テーマ：骨学講義 2 上肢帯と自由上肢 上肢帯と自由上肢の基本構造を説明できる。	明石英雄	第 2 実習室
10	10月 31日 (月)	7-10 時限	実習	テーマ：骨学実習 2 上肢帯と自由上肢 上肢帯と自由上肢の観察とスケッチを行う。 (1) 上肢の関節の構造を説明できる。 (2) 上肢の骨と主要な筋の関係を説明できる。 (3) 上肢の骨の名称と機能を説明できる。	板東良雄 鈴木良地 周 明 明石英雄	基礎棟第 1 講義室
11	11月7日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：骨学講義 3 骨盤と自由下肢 骨盤と自由下肢の基本構造を説明できる。	周 明	基礎棟第 1 講義室
12	11月7日 (月)	7-10 時限	実習	テーマ：骨学実習 3 骨盤と自由下肢 骨盤・下肢帯と自由下肢の観察とスケッチを行う。 (1) 骨盤の構造と性差を説明できる。 (2) 骨盤の孔と出入りするものを説明できる。 (3) 下肢の関節の構造を説明できる。 (4) 下肢の骨と主要な筋の関係を説明できる。 (5) 下肢の骨の名称と機能を説明できる。	板東良雄 鈴木良地 周 明 明石英雄	第 2 実習室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	11月 14日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：骨学講義 4 頭蓋骨 (1) 頭蓋骨・顔面の基本構造を説明できる。 (2) 内頭蓋底・外頭蓋底を構成する骨とその孔を出入りするものを説明できる。	鈴木良地	基礎棟第 1 講義室
14	11月 14日 (月)	7-10 時限	実習	テーマ：骨学実習 4 頭蓋骨 内頭蓋底と外頭蓋底の観察とスケッチを行う。 (1) 各頭蓋底の名称と通過する構造を言える。 (2) 頭部・顔面の骨と筋肉・神経・血管の位置関係を説明できる。	板東良雄 鈴木良地 周 明 明石英雄	第 2 実習室
15	11月 21日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 7 神経系 (1) 中枢神経 中枢神経の概略を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
16	11月 21日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 8 神経系 (2) 末梢神経 末梢神経の概略を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
17	11月 21日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：解剖学講義 9 心臓 心臓の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
18	11月 28日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 10 血管・リンパ系 (1) 全身の主な動脈・静脈・リンパの走行と機能を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
19	11月 28日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 11 血管・リンパ系 (2) 全身の主な動脈・静脈・リンパの走行と機能を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
20	11月 28日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：解剖学講義 12 呼吸器 (1) 呼吸器の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
21	12月 5 日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 13 呼吸器 (2) 呼吸器の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
22	12月 5 日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 14 消化器 (1) 上部消化管の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
23	12月 5 日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：解剖学講義 15 消化器 (2) 下部消化管の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
24	12月 12日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：解剖学講義 16 腎臓・泌尿器 腎臓・泌尿器の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
25	12月 12日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：解剖学講義 17 生殖器 1) 男性生殖器の基本構造を説明できる。 2) 女性生殖器の基本構造を説明できる。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室
26	12月 12日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：特別講義（予定） 外部講師による特別講義を行う。	渡辺雅彦	基礎棟第 1 講義室
27	12月 19日 (月)	5-6 時限	試験	テーマ：試験 人体解剖学入門および骨学（骨学実習含む）の試験を行う。 この試験の成績は形成評価ではなく、統一試験受験資格の判定に用いる。再試や追試は原則として行わない。 人体解剖学入門の試験範囲は前週までとする。	板東良雄	基礎棟第 1 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
28	12月 19日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：特別講義（予定） 外部講師による特別講義を行う。	鵜川真也	基礎棟第 1 講義室
29	12月 19日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：特別講義（予定） 外部講師による特別講義を行う。	吉田成孝	基礎棟第 1 講義室